

令和3年度口頭発表等一覧

[企画部]

発表者氏名	発表年	発表演題名	学会・講演会の名称
佐藤 壮紀	2021	G空間情報の社会実装に向けた最近の国の取組	関西G空間フォーラム2021
佐藤 壮紀	2021	地理空間情報の国の施策の動向について (次期基本計画に向けて)	令和3年度地理空間情報産学官中国地区連携協議会
大坂 和博	2021	公共測量業務の生産性向上に向けて ～i-Construction に対する国土地理院の取組～	第50回国土地理院報告会

[測地部]

発表者氏名	発表年	発表演題名	学会・講演会の名称
宮原伐折羅、ローラ・サンチェス (DGFI-TUM)、マーティン・セーネル (BEV)	2021	The Global Geodetic Observing System (GGOS) -infrastructure underpinning Earth science - (全球統合測地観測システム (GGOS) -地球科学を支える基盤インフラ-)	EGU General Assembly 2021 (欧州地球物理連合総会2021)
高木悠、上芝晴香、中久喜智一、松本紗歩、林京之介、湯通堂亨、森克浩、小林知勝	2021	VLBI-GNSS co-location survey at the Ishioka Geodetic Observing Station in 2018 and 2020 (2018年及び2020年に実施した石岡測地観測局におけるVLBI-GNSS コロケーション測量)	EGU General Assembly 2021 (欧州地球物理連合総会2021)
Rüdiger Haas(Chalmers University of Technology)、Eski Varenius(Chalmers University of Technology)、Periklis-Konstantinos Diamantidis(Chalmers University of Technology)、松本 紗歩、Matthias Schartner (ETH Zurich)、Tobias Nilsson (Lantmäteriet)	2021	VGOS Intensives Ishioka-Onsala (石岡-オンサラ間のVGOSインテンシブ観測)	EGU General Assembly 2021 (欧州地球物理連合総会2021)
藤原 智、飛田 幹男、小沢 慎三郎	2021	東北地方太平洋沖地震の余効変動予測モデルから見出された2015年以降の広域の新たな定常すべり	JpGU2021 (日本地球惑星科学連合2021年大会)
宮原伐折羅、ローラ・サンチェス (DGFI-TUM)、マーティン・セーネル (BEV)	2021	全球統合測地観測システム (GGOS) -地球科学を支える基盤インフラ-	JpGU2021 (日本地球惑星科学連合2021年大会)
上芝 晴香、高木 悠、中久喜 智一、松本 紗歩、林 京之介、湯通堂 亨、森 克浩、小林 知勝	2021	石岡VLBI観測施設の取り組み状況	JpGU2021 (日本地球惑星科学連合2021年大会)
三木原 香乃、犬飼 孝明、石倉 信広、島崎 久実、石本 正芳、小林 知勝	2021	干渉SAR時系列解析による国内火山の長期的な地殻変動について	JpGU2021 (日本地球惑星科学連合2021年大会)
中島 正寛、飯尾 研人、飯塚 康裕、栗原 忍、越智 久巳一、大森 秀一、兒玉 篤郎、畔柳 将人、半田 優実、松尾 功二	2021	精密重力ジオイド・モデル構築に向けた航空重力測量の取組	JpGU2021 (日本地球惑星科学連合2021年大会)
畔柳 将人、半田 優実、兒玉 篤郎、栗原 忍、越智 久巳一、山本 宏章、大森 秀一、飯尾 研人、中島 正寛、飯塚 康祐	2021	量子型絶対重力計AQGの導入	JpGU2021 (日本地球惑星科学連合2021年大会)
藤原智、飛田幹男、小沢慎三郎	2021	Spatiotemporal functional modeling of postseismic deformation after the 2011 Tohoku-Oki earthquake (2011年東北地方太平洋沖地震の余効変動の時空間モデリング)	IAG Scientific Assembly 2021 (国際測地学協会 (IAG) 総会 2021)
宮原 伐折羅、ローラ、サンチェス (DGFI-TUM)、マーティン、セーネル (BEV)、アリソン、クラドック (NASAジェット推進研究所)	2021	The Global Geodetic Observing System (GGOS) - fundamental infrastructure for science and society - (全球統合測地観測システム (GGOS) -社会・科学の基盤インフラ-)	IAG Scientific Assembly 2021 (国際測地学協会 (IAG) 総会 2021)

松本紗歩、上芝晴香、中久喜智一、高木悠、林京之介、森克浩、湯通堂亨、小林知勝、佐藤雄大	2021	VLBI-GNSS co-location at the Ishioka Geodetic Observing Station (石岡測地観測局におけるVLBI-GNSSコロケーション測量)	IAG Scientific Assembly 2021 (国際測地学協会 (IAG) 総会 2021)
中島 正寛、飯尾 研人、飯塚 康裕、栗原 忍、越智 久巳一、大森 秀一、兒玉 篤郎、畔柳 将人、半田 優実、山本 宏章、豊福 隆史、加藤 知瑛、松尾 功二	2021	The Airborne Gravity Measurement for Development of a New Precise Gravimetric Geoid Model in Japan (精密重力ジオイド・モデル構築に向けた航空重力測量の取組)	IAG Scientific Assembly 2021 (国際測地学協会 (IAG) 総会 2021)
中村優斗 (海上保安庁)、渡邊俊一 (海上保安庁)、横田裕輔 (東京大学)、鈴木啓、上芝晴香、瀬尾徳常 (海上保安庁)	2021	Shimosato co-location survey of the SLR and GNSS stations (下里におけるSLR-GNSSコロケーション測量)	IAG Scientific Assembly 2021 (国際測地学協会 (IAG) 総会 2021)
Periklis-Konstantinos Diamantidis (Chalmers University of Technology)、Rüdiger Haas、Eskil Varenius (Onsala Space Observatory)、Matthias Schartner (ETH Zurich)、松本紗歩	2021	Inter- and intra-technique evaluation of UT1-UTC estimates using Legacy S/X VLBI, VGOS and their combination with co located GNSS. A case study comparing INT1 to VGOS-B sessions (S/X、VGOSと、それらとGNSSとの組み合わせによるUT1-UTC推定の技術間及び技術内評価 INT1とVGOS-Bの比較事例)	IAG Scientific Assembly 2021 (国際測地学協会 (IAG) 総会 2021)
佐藤雄大	2021	火山活動を捉える宇宙の目 - 西之島をはじめとして -	第50回国土地理院報告会
宮原 伐折羅、ローラ・サンチェス(DGFI-TUM)、マーティン・セーネル(BEV)、アリソン・クラドック(NASAジェット推進研究所)	2021	The Global Geodetic Observing System (GGOS) - infrastructure underpinning science and society - (全球統合測地観測システム(GGOS) - 社会・科学を支える基盤インフラ -)	AGU Fall Meeting 2021 (米国地球物理学学会2021年秋季大会)
山下達也、田中もも、マービット京湖	2021	Towards an operational secular deformation modelling to more accurately maintain the Japanese semi-dynamic datum (日本のセミ・ダイナミック測地系をより高精度に維持するための現業経年変動モデリングに向けて)	AGU Fall Meeting 2021 (米国地球物理学学会2021年秋季大会)
中島 正寛、深谷 俊太郎、飯塚 康裕、豊福 隆史、越智 久巳一、山本 宏章、大森 秀一、加藤 知瑛、畔柳 将人、半田 優実、松尾 功二	2021	Quality control of airborne gravity survey in Japan (日本における航空重力測量の品質管理)	AGU Fall Meeting 2021 (米国地球物理学学会2021年秋季大会)
市村美沙、三木原香乃、石倉信広、島崎久実、石本正芳、佐藤雄大、小林知勝、宗包浩志	2021	Monitoring Active Volcanoes in Japan Using InSAR Time Series Analysis System with ALOS-2 Data (ALOS-2のデータを用いた干渉SAR時系列解析による国内火山地域の監視)	AGU Fall Meeting 2021 (米国地球物理学学会2021年秋季大会)
藤原智	2021	東北地方太平洋沖地震の余効変動予測モデルを利用した広域の微小な地殻変動検出	日本地震学会2021年度秋季大会
加川亮	2021	より正確な位置を与える「新たなジオイド・モデル」と「地殻変動補正」	地籍調査フォーラム2021
藤原智	2021	東北地方太平洋沖地震の余効変動予測モデルを利用した広域の微小な地殻変動検出	日本測地学会第136回講演会

宮原伐折羅、大坪俊通(一橋大学)、横田裕輔(東京大学生産研究所)、栗原忍、マーティン・セーネル (BEV)	2021	全球統合測地観測システム (GGOS) —最近の活動と日本での連携—	日本測地学会第136回講演会
山下達也、三木原香乃、田中もも、マービット京湖	2021	GEONETとInSAR時系列解析を用いた利根川中流域における鉛直変位の把握	日本測地学会第136回講演会
田中もも、山下達也、マービット京湖、山尾裕美	2021	F5解版地殻変動補正パラメータへの移行に伴うGNSS測量への影響評価	日本測地学会第136回講演会
中島正寛、深谷俊太郎、飯塚康裕、豊福隆史、越智久巳一、山本宏章、大森秀一、加藤知瑛、畔柳将人、半田優実、松尾功二	2021	精密重力ジオイド・モデル構築に向けた航空重力測量の品質評価	日本測地学会第136回講演会
林京之介、高木悠、湯通堂亨、佐藤雄大	2021	2種類のソフトウェアによるVLBIデータの相関処理結果の比較	日本測地学会第136回講演会
市村美沙、三木原香乃、石倉信広、島崎久実、石本正芳、佐藤雄大、小林知勝	2021	衛星画像を用いた国家座標の管理に向けて ～干渉SAR時系列解析の概要と活火山への応用～	令和3年度国土交通省国土技術研究会
Glenda Coetzer(South African Radio Astronomy Observatory)、高木悠、Kirsten Elger(GFZ German Research Centre for Geosciences)	2022	Digital Object Identifiers for the IVS (IVSにおけるデジタルオブジェクト識別子)	The 12th IVS General Meeting (第12回国際VLBI事業(IVS)総会)

[地理空間情報部]

発表者氏名	発表年	発表演題名	学会・講演会の名称
藤村 英範	2021	ジオのプロフェッショナリズムを求めて	ジオ展2021
藤村 英範	2021	UNVT Introduction (国連ベクトルタイルツールキットのご紹介)	UNVT Workshop
藤村 英範	2021	Deployment of open source vector tile technology with UN Vector Tile Toolkit (国連ベクトルタイルツールキットによるオープンソースのベクトルタイル技術の配備)	FOSS4G Buenos Aires 2021
藤村 英範	2021	UNVT Storytelling (国連ベクトルタイルツールキットによる地図語り)	UN Open GIS Initiative Monthly VTC
藤村 英範	2021	GSI Vector Map / UN Vector Tile (国土地理院のベクトル地図と国連ベクトルタイル)	Final Conference for Project on Geospatial Information for Sustainable Land
藤村 英範	2021	GSI Activities and GSI Vector Map (国土地理院の活動と国土地理院のベクトル地図)	Regional Conference for Geospatial Information
藤村 英範	2021	Charites + GitHub で完結、ベクトルタイルのスタイリングをしてみよう!	FOSS4G 2021 Japan Online
藤村 英範	2021	協創するベクトルタイルを目指して	第13回地理院地図パートナーネットワーク会議
渡部 金一郎	2021	地理院地図の今後の展望～ベクトルタイル地図で世界最先端を走る～	第50回国土地理院報告会
渡部 金一郎	2021	国土地理院におけるベクトルタイルの取組状況	第13回地理院地図パートナーネットワーク会議

[基本図情報部]

発表者氏名	発表年	発表演題名	学会・講演会の名称
澤 可那子、笹川 啓、片山 理佐子、宮之原 洋、柴田 光博	2021	国土地理院のオープンイノベーションによる3次元地図試作	日本写真測量学会令和3年度年次学術講演会
片山 理佐子、宮之原 洋、柴田 光博、笹川 啓	2021	みちびきを活用した電子国土基本図(地図情報)更新技術の検証	日本写真測量学会令和3年度年次学術講演会
石塚 麻奈、下野 隆洋、岸本 紀子、小原 弘志 (国土技術政策総合研究所道路交通研究部高度道路交通システム研究室)	2021	ETC2.0プローブ情報を用いた新規開通道路抽出手法の精度向上の試み	日本写真測量学会令和3年度秋季学術講演会

高田 悠太郎、下野 隆洋、岸本 紀子	2021	電子国土基本図と都市計画基図による建物外周線差分自動抽出手法の検証	日本写真測量学会令和3年度秋季学術講演会
佐々木 励起、下野 隆洋、岸本 紀子	2021	熱海市の土石流源頭部におけるレーザ計測による発災前後の標高変化量抽出	令和3年度国土交通省国土技術研究会
菅野 秀秋	2021	空から日本を見つめ続けて60年 - 測量用航空機くにかぜのあゆみと最近の取組-	第50回国土地理院報告会

[応用地理部]

発表者氏名	発表年	発表演題名	学会・講演会の名称
栗栖悠貴	2021	「地理教育の道具箱」を活用した Society5.0時代の地理教育支援 Supporting school teachers with GSI's Toolbox for geography education in the era of Society 5.0	JpGU2021 (日本地球惑星科学連合2021年大会)
星野賢史、小野康、岡本勝浩、稲澤容代、前島正吉、山中崇希	2021	令和3(2021)年度 1:25,000 活断層図の公開 Release of new sheets of 1:25,000 Active Fault Map in 2021	日本活断層学会2021年度秋季学術大会
小野 康	2021	過去から現在、そして未来へつなぐ防災・減災の貴重な声 - 自然災害伝承碑が伝える先人たちのメッセージ-	第50回国土地理院報告会
栗栖悠貴、黒木貴一 (関西大学)	2021	災害履歴情報と地形特性情報を用いた自然災害リスク発信の工夫	2021年日本地理学会秋季学術大会
栗栖悠貴	2022	地理教育の充実に向けた国土地理院による教科書・教材会社への支援	2022年日本地理学会春季学術大会

[測地観測センター]

発表者氏名	発表年	発表演題名	学会・講演会の名称
高松直史、村松弘規、加藤知瑛、大野圭太郎、阿部聡、古屋智秋、檜山洋平	2021	新たなGEONET新解析ストラテジによる「電子基準点日々の座標値」の開発	JpGU2021 (日本地球惑星科学連合2021年大会)
阿部聡、大野圭太郎、高松直史、村松弘規、古屋智秋、檜山洋平	2021	みちびきを使用した電子基準点リアルタイム解析の試み	JpGU2021 (日本地球惑星科学連合2021年大会)
山際敦史	2021	国土を測る重要インフラ「電子基準点網」のさらなる発展に向けて	第50回国土地理院報告会
村松弘規、高松直史、阿部聡、古屋智秋、川元智司	2021	「電子基準点日々の座標値 (F5 解)」の運用開始	2021年度測位航法学会全国大会
高松直史、村松弘規、多田直洋、大野圭太郎、阿部聡、川元智司	2021	New Daily Coordinates of GNSS CORS in Japan Based on the GEONET 5th Analysis Strategy(GEONET解析ストラテジ (第5版) に基づく「電子基準点日々の座標値」について)	IAG Scientific Assembly 2021 (国際測地学協会 (IAG) 総会 2021)
大野圭太郎、高松直史、村松弘規、阿部聡、川元智司	2021	REGARD 推定結果へのデータ品質評価の導入	日本測地学会第136回講演会
多田直洋、阿部聡、大野圭太郎、高松直史、村松弘規、川元智司	2021	リアルタイム PPP 測位を用いた断層推定の評価	日本測地学会第136回講演会
川元智司、高松直史	2021	RINEX データ前処理ソフトウェア RINGO の開発	日本測地学会第136回講演会
三浦優司、小川拓真、森下 一、仲井博之	2021	験潮場の GNSS 連続観測データを用いた海面変動トレンドの推定	日本測地学会第136回講演会
佐藤明日花、藤田健一 (気象庁)、大脇温子、中谷広樹、三浦優司、仲井博之	2021	GEONET 解析ストラテジ更新に伴うオフセットの再補正	日本測地学会第136回講演会
村松弘規、阿部聡、高松直史、大野圭太郎、多田直洋、川元智司	2021	電子基準点リアルタイム解析システムによる震源断層推定	(一社) 測位航法学会 GPS/GNSSシンポジウム2021

[地理地殻活動研究センター]

発表者氏名	発表年	発表演題名	学会・講演会の名称
小沢慎三郎*、宗包浩志、川畑亮二	2021	南海トラフ沿いの長期的SSE Long-term SSE along the Nankai trough detected by Geonet	JpGU2021 (日本地球惑星科学連合2021年大会)
宗包浩志	2021	草津白根山・浅間山の火山性地殻変動モ デリング(その2) Reappraisal of the deformation model for Mt. Kusatsu-shirane and Mt. Asama	JpGU2021 (日本地球惑星科学連合2021年大会)
中埜貴元*、遠藤 涼、井上洋之(1)、山科 望 (1)、渡邊真悟(2)、高田圭太(2)、藤田琢磨(2) (1)国土交通省都市局 (2)復建調査設計(株)	2021	地域の液化化リスク認知のための微地形 分類に基づく液化化発生傾向図の作成方 針 Policy for creating a liquefaction trend map based on geomorphologic classification for recognition of regional liquefaction risk	JpGU2021 (日本地球惑星科学連合2021年大会)
岩橋純子*、山崎大(1)、中埜貴元、遠藤涼 (1)東京大学	2021	数値地形解析による30mDEMを用いた地 盤脆弱性アセスメントに資する地形分類 データの作成	JpGU2021 (日本地球惑星科学連合2021年大会)
森下遊	2021	SAR干渉画像のためのカラーマップの検 討 Discussion of the colour map for SAR interferograms	JpGU2021 (日本地球惑星科学連合2021年大会)
松尾功二	2021	3次元最小二乗コロケーション法による航 空重力データの精度評価 Accuracy evaluation of airborne gravity data by three-dimensional least-squares collocation method	JpGU2021 (日本地球惑星科学連合2021年大会)
中川弘之*、阿部聡、村松弘規、高松直史	2021	将来の国家座標管理に向けたマルチ GNSS-PPPによる電子基準点の位置座標 算出戦略の開発 Development of coordinate calculation strategy for GEONET station using multi GNSS PPP aiming future management scheme of the national coordinate	JpGU2021 (日本地球惑星科学連合2021年大会)
宮原伐折羅*、Laura Sanchez(1)、Martin Sehna(2) (1)DGFI ミュンヘン工科大学、 (2)BEV オーストリア連邦計量・測量庁	2021	全球統合測地観測システム(GGOS)-地 球科学を支える基盤インフラ- The Global Geodetic Observing System(GGOS)-infrastructure underpinning Earth science	JpGU2021 (日本地球惑星科学連合2021年大会)
古屋智秋*、菅原 準、齋田宏明、和田弘人	2021	長期試験観測によるセンチメートル級測位 補強サービス(CLAS)の精度評価 Evaluation Performance of QZSS Centimeter Level Augmentation Service(CLAS) with long-term field observations	JpGU2021 (日本地球惑星科学連合2021年大会)
小荒井衛(1)*、高見慧一(1)、橋上直生(2)、中 埜貴元、先名重樹(3) (1)茨城大院 (2)茨城大理 (3)防災科研	2021	長野県飯山市における工学的基盤深度と 活構造・地震被害との関連性	JpGU2021 (日本地球惑星科学連合2021年大会)
三浦 哲(1)*、森下 遊、太田 雄策(1)、出町 知 嗣(1)、コラビタ ミカエラ(1) (1)東北大学大学院理学研究科	2021	干渉SAR時系列解析による火山活動モニ タリング Volcano monitoring based on InSAR Time-series Analysis	JpGU2021 (日本地球惑星科学連合2021年大会)

コラビタ ミカエラ(1)*、三浦 哲(1)*、森下 遊 (1) 東北大学大学院理学研究科	2021	Evolution of Volcanic Deformation at Domuyo and Laguna del Maule, Southern Andes, Revealed by InSAR Time-series Analyses (干渉SAR時系列解析によって明らかになった南アンデスDomuyo・Laguna del Maule火山の変動の推移)	JpGU2021 (日本地球惑星科学連合2021年大会)
宮原伐折羅*、松尾功二、兒玉篤郎、栗原忍	2021	Development of gravity geoid model of Japan using airborne gravity data covering Japan archipelago (日本全国の航空重力データを用いた日本のジオイド・モデルの構築)	FIG e-Working Week 2021 (国際測量者連盟オンライン大会2021)
松尾功二*	2021	Examining the optimal depth of the condensed topographic masses for precise geoid determination based on the Stokes-Helmert scheme - A case study in Colorado (重力ジオイド決定におけるヘルマート第一凝縮化成と第二凝縮化成の比較 - 米国コロラド州での事例)	IAG Scientific Assembly 2021 (国際測地学協会 (IAG) 総会 2021)
市川隆一*(1)、氏原秀樹(1),(5)、佐藤晋介(1)、太田雄策(2)、宮原伐折羅、宗包浩志、小林知勝、長崎岳人(3)、田島治(4)、荒木健太郎(5)、田尻拓也(5)、松島健(6)、瀧口博士(7)、松島喜雄(8)、桃谷辰也(9)、宇都宮健志(9)、関戸衛(1)、寺家孝明(10)、小山友明(10)、竹内央(7)、今井裕(11) (1)情報通信研究機構 (2)東北大学 (3)理化学研究所 (4)京都大学 (5)気象庁気象研究所 (6)九州大学 (7)宇宙航空研究開発機構 (8)産業技術総合研究所 (9)日本気象協会 (10)国立天文台 (11)鹿児島大学	2021	Development of Wideband Receiver for Novel Ground-based Microwave Radiometer -field experiments of the new 20-60 GHz wide-band receiver and its implications to new development of the wide-band VLBI receiver- (新しい地上マイクロ波放射計用広帯域受信機の開発 -20-60GHz帯の広帯域受信機の野外試験と広帯域のVLBI受信機の新規開発への展望-)	IAG Scientific Assembly 2021 (国際測地学協会 (IAG) 総会 2021)
岡谷隆基	2021	自然災害伝承碑設置場所の地形的特性 Topographical Characteristic of Location of "Shizensaigaidenshoji"	日本地図学会2021年度定期大会
中埜貴元*、藤原智、小林知勝	2021	干渉SARとSfM-MVS技術による地震に伴う谷埋め盛土造成地の変動の検出と評価	第40回日本自然災害学会学術講演会
氏原秀樹(1),(2)、市川隆一*(2)、関戸衛(2)、宗包浩志、宮原伐折羅、小林知勝、寺家孝明(3)、小山友明(3)、竹内央(4)、今井裕(5) (1)京都大学 (2)情報通信研究機構 (3)国立天文台 (4)宇宙航空研究開発機構 (5)鹿児島大学	2021	次世代マイクロ波放射計兼広帯域VLBI受信システムの開発	日本天文学会2021年秋季年会
小林知勝*、松尾功二、安藤亮輔(1)、中埜貴元 (1)東京大学	2021	2016年熊本地震の断層終端部における地殻変動と重力データから推定した地下の密度構造の詳細	日本地震学会2021年度秋季大会
小沢慎三郎*、水藤尚、宗包浩志	2021	2018年以降GEONETで検出された南海トラフ沿いの長期的SSE	日本地震学会2021年度秋季大会

宗包浩志	2021	粒子法時間依存逆解析による火山性地殻変動力源の逐次推定	日本火山学会2021年度秋季大会
中埜貴元*、宇根 寛(1)、佐藤 浩(2)、小村 慶太郎(3) (1)お茶の水女子大学 (2)日本大学 (3)電力中央研究所	2021	阿蘇外輪山北西部で新たに確認した断層変位地形と2016年熊本地震に伴う地表地震断層	日本活断層学会2021年度秋季学術大会
Ryu Sugimoto(1), Masanobu Shimada(2), Yu Morishita, Ryo Natsuaki(3), Ryosuke Nakamura(1), Chiaki Tsutsumi(1), and Yoshio Yamaguchi(4) (1)産業技術総合研究所 (2)東京電機大学 (3)東京大学 (4)新潟大学	2021	Interferometric SAR processing using whole ALOS/PALSAR Data Archive for Measuring the Global Surface Deformation (全球地表変動計測のための ALOS/PALSAR全データアーカイブを利用したSAR干渉解析)	Asia-Pacific Conference on Synthetic Aperture Radar (APSAR 2021) (アジア太平洋SAR学会)
森下 遊	2021	複数SARデータ解析手法の統合利用による3次元変動場と誤差の導出	日本測地学会第136回講演会
森下 遊	2021	科学的・非科学的カラーマップ	日本測地学会第136回講演会
松尾功二	2021	ストークス・ヘルメルト法に基づく精密ジオイド決定のための凝縮地形質量の最適な深度の検討	日本測地学会第136回講演会
松尾功二*、小林知勝、安藤亮輔(1)、中埜貴元 (1)東京大学	2021	Impact of topographic density variations on subsurface structure estimation by gravity inversion – a case study in Aso Caldera, Japan (重カインバージョンによる地下構造推定に対する地形密度変化の影響 – 阿蘇カルデラでの事例)	AGU Fall Meeting 2021 (米国地球物理学会2021年秋季大会)
小沢慎三郎*、宗包浩志、藤原智	2021	Time dependent modeling of the magma chambers in Aira caldera and Kirishima volcanoes, Japan. (始良カルデラと霧島山のマグマ溜まりの時間変化)	AGU Fall Meeting 2021 (米国地球物理学会2021年秋季大会)
小林知勝*、松尾功二、安藤亮輔(1)、中埜貴元 (1)東京大学	2021	What controlled the fault ruptures in the final stage?: A comparison of SAR-derived fault slips with gravity-inferred density structures for the 2016 Kumamoto earthquake in Japan (何が最終段階における断層破壊を制御するのか: 2016年熊本地震におけるSARで捉えた断層すべりと重力データから推定した地下の密度構造との比較)	AGU Fall Meeting 2021 (米国地球物理学会2021年秋季大会)
岩橋純子	2021	Seismic Ground Disaster Assessment System (SGDAS) of GSI Japan (国土地理院の地震時地盤災害推計システム (SGDAS) について)	Italy-Japan joint workshop on landslide monitoring systems and related topics (地すべりモニタリングシステムおよび関連するトピックスに関するイタリア・日本の合同ワークショップ)
中埜貴元	2021	Research for the improvement of SGDAS - liquefaction (SGDAS改良のための研究 – 液状化について –)	Italy-Japan joint workshop on landslide monitoring systems and related topics (地すべりモニタリングシステムおよび関連するトピックスに関するイタリア・日本の合同ワークショップ)
遠藤 涼	2021	Research for the improvement of SGDAS - prior rainfall (SGDASの改良に向けた研究 – 先行降雨に着目して –)	Italy-Japan joint workshop on landslide monitoring systems and related topics (地すべりモニタリングシステムおよび関連するトピックスに関するイタリア・日本の合同ワークショップ)

<p>松本紗歩*、中久喜智一、湯通堂亨、上芝晴香、高木悠、林京之介、森克浩、佐藤雄大、小林知勝</p>	<p>2022</p>	<p>Status of the Ishioka VLBI station for the past two years (過去2年間の石岡VLBI観測局の状況)</p>	<p>The 12th IVS General Meeting (第12回国際VLBI事業(IVS)総会)</p>
<p>Walter Alef(1), James M. Anderson(2), Simone Bernhart(3), Johannes Böhm(4), Ruben Bolaño González(5), Yoon K. Choi(3), Thomas Gansmoe(5), Susana García Espada(5), Cristina García Miró(6), Anastasiia Girdiuk(7), Javier González García(6), Silje A. Groøslie Wennesland(5), Jakob F. Gruber(4), Rüdiger Haas(8), Roger Hammargren(8), Frédéric Jaron*(4),(1), Niko Kareinen(9), Ann-Silje Kirkvik(5), Hana Krásná(4), Elena Martinez(6), Iván Martí-Vidal(10), Axel Meldahl(5), Alexey Melnikov(11), Alexander Neidhardt(12), Axel Nothnagel(4), Olivia Panzenböck(4), Leonid Petrov(13), Christian Plötz(14), Helge Rottmann(1), Tuomas Savolainen(15),(16),(1), Matthias Schartner(17), Torben Schüller(14), Harald Schuh(2),(18), Benedikt Soja(17), Eskil Varenius(8), Pablo de Vicente(6), Jan Wagner(1), Minguhi Xu(15),(16), Nataliya Zubko(9), Mark Kettenis(19), Saho Matsumoto, Richard Porcas(1), Des Small(19), Marjolein Verkouter(19)</p> <p>(1)マックスプランク電波天文学研究所、(2)GFZ、(3) Reichert GmbH、(4) TUWien、(5) Norwegian Mapping Authority、(6) イエベス天文台 (IGN)、(7) BKG、(8)チャルマース工科大学 オンサラ天文台、(9)フィンランド測地研究所、(10)バレンシア大学、(11)ロシア科学アカデミー、(12)ミュンヘン工科大学測地天文台ウエッツェル、(13) NASAゴダード宇宙センター (14)ミュンヘン工科大学測地天文台ウエッツェル、FESG、(15) アールト大学メッツァホビ電波天文台、(16) アールト大学 (18) ベルリン工科大学、(19) JIVE</p>	<p>2022</p>	<p>Current Status of EU-VGOS Project (EU-VGOSプロジェクトの現状)</p>	<p>The 12th IVS General Meeting (第12回国際VLBI事業(IVS)総会)</p>
<p>中埜 貴元</p>	<p>2021</p>	<p>大地震の地盤災害の推計を“すぐ”に“だし”ます -スグダス (SGDAS) システムの運用-</p>	<p>第50回国土地理院報告会</p>